



かぜ 東陽の旋風 ～自律協働貢献～

令和7年3月14日（金）No 45 発行
文責：松本 卓也

この9年間で築いた絆や友情は 決して忘れることはありません・・・



「石走る 垂水の上の 早蕨の 萌え出づる春に なりにけるかも」と万葉集に詠われているように、春の訪れを感じる季節となりました。7日（金）、第56回卒業証書授与式を開催し、16名の卒業生が東陽中を旅立ちました。卒業証書授与では、凜とした返事と、まっすぐな眼差しで堂々と証書を受け取る姿に、3年間の成長を感じました。

送辞：「私が一番印象に残っていることは、部活動での先輩たちの姿です。技術的な面だけでなく、『どんな状況でも諦めない』という強い気持ちを学びました。私たちが試合前に緊張している時やミスをした時かけていただいた、『試合頑張ろうね！』や『ドンマイ！』という励ましの言葉は、私たちの緊張をほぐし、気合いを入れ、私たちの実力を発揮する支えとなりました。たくさん場面先で先輩方に支えられました。先輩方にとっては、何気ない一言、思い出の場面だったかも知れませんが、私たちにっては、一生忘れることのない宝物になりました。」生徒会長 Iさん

答辞：「3年生のみんな。今まで、ありがとう。長い人生のうち9年間、この小さな学校で出会い、青春の日々を過ごし、仲間になれたことを嬉しく思います。これから私たちはそれぞれ別の道に進みますが、この9年間で築いた絆や友情は決して忘れず、東陽苑で同窓会をしましょう。夢に向かって頑張っている日々や、中学校生活の思い出をしながら、たくさん笑い合しましょう。」前生徒会長 Tさん

「あああの街で生まれて君と出会い たくさんの思い出を抱いて 一緒に時を過ごしたね 今旅立つ日 景色は違っても 遠い場所で 君も同じ空を 見上げてははず～♪」歌詞と子どもたちの思いがリンクして、目の前に情景が浮かびます・・・。「素晴らしい卒業式でした。」「子どもたちがあれだけ泣くのは、思いがあるからですね。」ご列席いただいたご来賓の皆様からのお言葉です。16名の卒業生のみならず、これで本当にお別れです。旅立つ君に、未来が幸多からんことを願っています。『卒業、おめでとう！』



いい感じにソースが焦げて美味しかったです！

11日（火）に、1年生が調理実習を行いました。メニューは、「煮込みハンバーグ」です。家でお手伝いしている生徒は、包丁さばきや手ごね、焼きの手際が上手い！美味しくいただきました。笑顔、笑顔でした。私たちの感想には、「長い時間、煮込んだおかげで、いい感じにソースが焦げて美味しくなりました。」「ハンバーグを作った楽しかったです。」「お家の方にも教えてみてください！」



集中して学習に取り組めました！

11日（火）、小中合同 toyo 寺子屋（全員学習会）を行いました。11月の「八代型小中一貫・連携教育」実践発表会に続いて、今年度4回目の実施です。実際に、寺子屋を参観された方々のアドバイスをもとに、今回は教科毎（国語、社会、算数、理科、社会）に教室を分け、その得意とする科目の教室を和気あいあいと楽しみながら学習に取り組んでいきます。最後は振り返り学習を取り組む予定です。寺子屋の学習環境が、子どもたちの学習意欲を高め、学習の楽しさを伝えることができました。今後、寺子屋の学習環境をさらに充実させていきます。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）